

今後の検討課題（案）

1. 著作権保護に向けた国際的な対応

- ・ 視聴覚実演及び放送機関の保護に関し、WIPOにおける議論を十分に踏まえつつ、今後の対応のあり方について検討

（最近の動向）

- － 次回SCCR(5月)にて放送機関保護に関する情報交換会合が開催予定
- － 欧州議会にて域内での放送機関保護のあり方について検討の動き

2. エンフォースメントの実効性確保に向けた対応

- ・ 準拠法及び国際裁判管轄に関し、わが国の著作権関連ビジネスの円滑化に資する国際ルールのあるあり方について、米国や欧州において検討が進められているモデルも踏まえつつ検討
- ・ デジタル化・ネットワーク化による国境を越えた侵害行為への権利執行に関し、その実効性確保に資するような各国との情報共有や連携のあり方について、国際動向も踏まえつつ検討

（最近の動向）

- － アメリカ法律協会、マックスプランク知的財産研究所で準拠法及び国際裁判管轄に関する国際ルール草案の検討の動き
- － 模倣品・海賊版拡散防止条約(仮称)の締結に向けた交渉
- － 欧州各国におけるインターネット上の侵害に対する権利執行の実効性確保に向けた検討の動き

3. 開発と知財問題への対応

- ・ 途上国における開発問題に関し、知識の利用を促すような法制度及びその運用のあり方について、WIPO等の動向を踏まえつつ検討
- ・ フォークロアへの対応に関し、各地域や民族の特性に応じて柔軟な対応が可能となるガイドライン又はモデル規定のあり方等について、WIPO等の動向を踏まえつつ検討

（最近の動向）

- － 次回SCCRにて権利の制限と例外に関する情報交換会合を継続開催
- － IGC(遺伝資源、伝統的知識及びフォークロアに関する政府間委員会)及びCDIP(開発と知的財産に関する委員会)について、来年も継続検討の予定

4. その他の検討課題

- ・ 上記検討課題等を踏まえたTRIPS及び二国間協定・協力等への対応のあり方
- ・ 著作権に関する制度運用の国際協力のあり方 等